

仕 様 書

1. 適用範囲

本仕様書は、西部第1雨水幹線外除草業務に適用する。

2. 実施時期

実施時期は、1回目を6月から7月の間に実施し、2回目を9月から10月の間に実施をすること。

3. 提出書類

(1) 受注者は、契約締結後、すみやかに次の書類を提出すること。

- ① 現場代理人等通知書
- ② 業務工程表

(2) 業務が完了した時は、すみやかに次の書類を提出すること。

- ① 完了届
- ② 位置図
- ③ 業務写真帳

(3) 前項第2号及び第3号について、1回目並びに2回目の完了後に提出すること。

4. 業務写真

受注者は、次の各項に従って、業務写真を撮影し、業務完了時には、業務記録写真帳に整理し、完了届に添付して調査員に提出すること。

- (1) 着手前及び完了の撮影は、業務箇所の起点及び終点について行うこと。また、業務箇所の延長が100mを超える箇所については、起点及び終点に加えて実施延長100mに対して1箇所の撮影を行うこと。
- (2) 業務の実施状況の撮影は、業務箇所1箇所に対して、1箇所の状況のほか、調査員が指示する内容について行うこと。
- (3) 写真には、件名、撮影場所、撮影対象及び受注者名を明記した黒板を入れて撮影すること。

5. 安全管理

- (1) 受注者は、公衆災害、労働災害及び物件損害等の未然防止に努め、労働安全衛生法の定めるところに従い、その防止に必要な措置を十分講ずること。
- (2) 受注者は、業務に従事する者に対して、定期的に当該業務に関する安全教育を行い、作業員の安全意識の向上を図ること。
- (3) 機械器具その他の設備は常時点検して、業務に従事する者の安全を図ること。
- (4) 業務実施中は、常時、石及び砂利等の飛散に注意し、現場周辺の住宅及び通行人の安全、現場の保安対策を十分講ずること。
- (5) 受注者は、業務の実施にあたり、下水道施設に損害を与えたときは、ただちに調査員に報告し、対応について協議するとともに、すみやかに原状復旧すること。
- (6) 受注者は、業務の実施にあたり、万一、注意義務を怠ったことにより、第三者に損害を与えた時

は、その復旧及び賠償に全責任を負うこと。

- (7) 万一、事故が発生した時は、ただちに調査員に報告するとともに、すみやかに必要な措置を講ずること。
- (8) 前項の通報後、受注者は事故の原因、経過及び被害内容を調査の上、その結果を書面により、ただちに発注者に届け出ること。

## 6. 除草工

- (1) 受注者は、除草業務位置図（1回目）及び除草業務位置図（2回目）に定める業務実施箇所において除草、集草及び刈草の処分を行うこと。
- (2) 業務実施の日程について、事前に調査員に届出ること。
- (2) 業務実施にあたっては、水路端部より設計図書に定める幅員について行うこと。
- (3) 中部第1雨水枝線においては、必要に応じて水路内の除草を行うこと。
- (4) 業務実施にあたっては、狹隘箇所及び障害物周り等の現場状況に応じ、適切な機械及び手法を用いて行うこと。
- (5) 業務実施にあたっては、刈草が水路に落下しないように注意すること。また、刈草が水路に落下した場合は集草すること（西部第1雨水幹線（若葉三丁目地内）に刈草が落下した場合は、集積地である西部第1スクリーンを清掃すること）。
- (6) 業務実施中に廃棄物（塵芥）を発見した場合は、作業箇所付近に集積し、調査員に位置図及び写真により報告すること。
- (7) 刈草の処分は西部クリーンセンター（つがる市稲垣町繁田白旗 11-1）に搬入して行うこと。また、搬入は刈草を乾燥させてから行うこと。
- (8) 西部クリーンセンターに刈草の搬入を行う際に使用する車両は、車高3.6m以下とすること。
- (9) 西部クリーンセンターに刈草の搬入を行う際は、搬入日について、搬入日より7日以上前に調査員と協議すること。

## 7. その他

- (1) 受注者は、業務を実施するにあたり、必要に応じて地先住民等に業務内容を説明し、理解と協力を得ること。
- (2) 本仕様書の記載なき事項及び疑義が生じた場合は、発注者と協議のうえ決定する。